

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-2 2
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361



7 期目の議会活動

パナソニックのUD製品開発と普及

私が参加する NPO ユニバーサルファッション協会」が運営し、「CARATO71PROJECT 運営委員会」が主催する講演が開かれました。

今回は、「パナソニックのユニバーサルデザイン第一人者 中尾洋子さんに聞くー 誰もがいきいきと暮らせる社会を目指す最先端のユニバーサルデザイン」というタイトルでした。講師は、同社全体の UD 推進担当 主幹 AP デザインセンター マネジメント推進部 開発推進課の方でした。2005 年からデザインカンパニー UD チームのチームリーダーとして、家電を中心に社内の UD 開発、推進を幅広く担当。2012 年からはパナソニック全社の UD 推進事務局として、UD サイトや UD パンフレット、UD 出前授業等の UD 情報発信活動にも注力。家電のみならず、BtoB や先行的なロボット開発等も含めて精力的に活動し、パナソニックの幅広い事業領域を通じて、より多くの方に配慮した UD を広げていきたいと考えているというものでした。

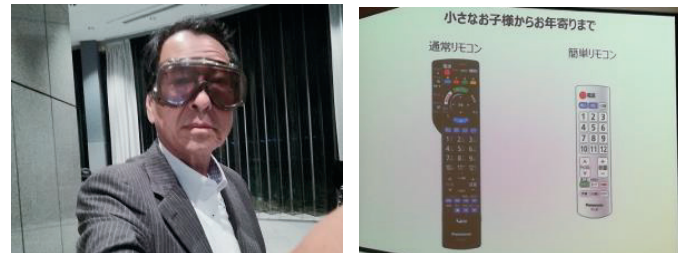
パナソニックは、松下電器創業者の松下幸之助の二股ソケットの開発発売以来、人の生活の役立つ製品を造ることを DNA として来たように思いました。



講演の冒頭には、「ななめドラム洗濯乾燥機」が紹介されました。誰もが知る商品で、洗濯機は天井部分から洗濯物を出し入れするものですが、車いす使用者にもそれができるように設計開発されたものであるそうです。高齢者も子どもも年齢に限らず、誰でも容易に使用できるものとなっています。

TV のユニバーサルデザインの取り組みでは、視覚障がいの人でも TV は情報量が多くて、有用だということで、触感的なスイッチが取り入れられることに重点が置かれたという趣旨でした。色弱、白内障の人をも意識した製品の色、説明書類の見やすさが図られていました。そのために、白内障疑似体験ゴーグルが開発されていました。掃除機は当初のタイプより、モーターのアルミ化によって、重量が半減する軽量化が図られているとのことでした。

* 白内障疑似体験ゴーグルを装着してみる



* 一般用と多世代用のリモコンのキー配置

キッズデザインの話では、パナソニックの製品紹介のパンフレットに、キッズの安全仕様の目的と用途例が多数記されていました。そうした中で、IC クッキングヒーターでは加熱中、光るリングが点灯していることで視認することができるように設計されているという説明がありました。

パナソニックでは、多岐にわたってユニバーサルデザインを意識した製品開発を進めていることがわかりました。

★ 政党無所属・市議会は「保守の会」 yoshidaben@gamil.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (自宅)

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

自立した経済圏◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インタビュー好評

総務委員会の議論の課題とは



委員会室でインタビュー研修中に撮影

町田市議会第 3 定例会の会期中、2 日間の総務常任委員会 (岩瀬和子委員長) の審査は 9 月 10-11 日に終了しました。9 月 18 日に、議員の質疑にもとづく付帯意見を取りまとめることで、委員長報告とつながります。

現行は、決算を各常任委員会に下ろして分割審査をしており、予算を審査したメンバーと同じメンバーがそれに当たりました。私は副委員長職についており、今期、質疑討論を一切行いませんでした。発言してはいけないという決まりも、強制ありませんが、同会派の深沢議員の発言に期待をしていました。スタート時期は不安定でしたが、後半以降は落ち着いて質疑を行っていました。議員任期は間もなく半分を迎えます。今後は本格的に議論の中に身を置くことになります。

思うに、最近の決算審査は比較的あっさりした感じがしています。市政に混乱が見当たらないのかもしれませんが。私自身は、反対の大きな事業が進んでいることもあり、いくつかの点で見逃せないものもありますが、所詮、多数の分野では圧倒する力は発揮しようありませんが、ごまめの歯ぎしりを現実化するチャンスを見出さねばいけません。

一般質問 (視覚障がい者支援②)

(令和元年秋号発行の続きの記事)

次いで、視力障がいの方が病院に行く場合、通院日を先に指定するのか、それとも同行サービスを先に確保して通院手続きを取るのかと聞きましたが、当然、通院日を先に指定するというものでした。結果的に、通院日を先に指定し、それから同行援護人を探しだすことを確認しました。

最後に、この同行援護に関して、必要人数の確保に町田市の具体的な支援策の検討はあるか? を聞きました。実際の利用時間が約半数の時間というように少ないのは、同行援護人が不足していることが理由ではないかと尋ねました。それに伴い、同行援護の従事者が拡大傾向か、それとも減少傾向かと尋ねましたが、同行援護人の人数把握はなされていない状態でした。その必要性を訴え、今後、その調査がなされる旨の答弁がありました。

その調査の前に、同行援護人の拡充には、その手当てを増大することが最もシンプルなことですが、あえてその増大は求めませんでした。*その理由は、現実的にこの課題を提起し、対応施策が取り入れられる見込みがないからでした。資格者の取得費の費用負担 (全部、一部) を求めましたが、他市の例を調べるという範囲で質疑を終えました。



本会議場でインタビュー研修中に撮影

★ 吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中!

研修レポート⑥-2 石井七海

第3回町田市議会定例会での吉田議員の一般質問は3項目ありました。なお、今回、議員の一般質問は正副議長を除いた全員(34名)が各1時間、合計5日間に渡って、質問を行うという日程でした。

その質問の1項目目は、町田市の中核市への転換の可能性はゼロか、2項目目は視覚障がい者の同行援護について、3項目目は町田市立総合体育館の運営について、でした。

視覚障がい者の同行援護については、成瀬駅前で複数の児童が、「そのお二人の視覚障がい者に自分の腕をつかんでもらう方法」で案内していたのを見たという、自分のエピソードを添えた話し方でした。その説明方法がわかりやすく、印象的でした。普通に質問項目を述べるだけでなく、具体的な体験を添えることによって聴いている人をより引きつけられることを知りました。

次回(9月10日)のインターンシップ日程は、は吉田議員が所属する、総務常任委員会を見学させていただく予定です。こちらもしっかりと傍聴に臨みたいと思います。



昭和女子大学2年生 石井七海(第44期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

研修レポート⑦-1B 長井健太

この掲載レポートは、⑦-1A 続きです。

もう一つは横浜市や地元の企業が出資した第三セクターが運行を行う「シーサイドライン」です。昭和50年代に開発された市南部の埋立地の居住者や、沿線に建設されたレジャー施設の利用者を輸送する目的で建設されました。高架橋の上をゴムタイヤ付きの車両が走行する「新交通システム」の国内標準仕様第一号の路線です。

建設時に国の補助を活用するため、路線下の道路と一体的に整備を行ったことから、高架橋の維持管理は第三セクターではなく横浜市の道路局が行っていることも特徴の一つです。



首都大東京3年生 長井健太(第43期生)

研修レポート⑦-2 長井健太

横浜市が出資する第三セクター「金沢シーサイドライン」について、市道路局の樹岡さんから話を伺いました。

シーサイドラインは、昭和40年代に計画された市南部の埋立事業「金沢地先埋立事業」の一環として、沿線の工場労働者、居住

首都大東京3年生 長井健太(第43期生)

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

者、およびレジャー施設の行楽客輸送を目的に建設され、平成元年に開業しました。

当初の需要予測が普通鉄道では過剰であり、バスでは足りないと言われたことから、両者の中間需要を満たす中量輸送機関として新交通システムが選択されたとのこと(多摩都市モノレールなども規模としては中量輸送機関に当たります)。開業当時、既に国内でもいくつかの新交通システムが運行されていましたが、車両の大きさなどの規格がまちまちであったことから、シーサイドラインは後の国内標準規格の第一号にもなっています。*この説明は、一部が前の記事と重複した内容が含まれます。

建設に当たっては、国土交通省のインフラ補助が活用され、橋脚や橋桁の工事は下の道路と一体で行われました。国道の上を走行する区間は建設省(当時)が整備を行っており、これによって横浜市の負担を下げることが可能になりました。また、車両の運行や電気設備などの維持管理を第三セクターに移管することで民間資本の投入を可能にしており、これも財政面での市の負担軽減につながっています。



首都大東京3年生 長井健太(第43期生)

研修レポート⑦中里 叶夢

今回のインターンでは総務常任委員会を傍聴しました。この委員会は議案等を詳しく審査するために設けられています。市の職員から予算や決算についての説明があった後に行政評価シートなどを参考にした質疑が行われました。質疑の中では東友美委員の公用車について、殿村健一委員の市民への保険年金課案内の徹底に関する質疑について特に興味を持ちました。



まず、公用車に関しては市川市でテスラの電気自動車を導入がされるも、すぐに中止されるといった話題があったことから私も含め多くの方の関心が高いものだと思います。東委員の公用車の選定基準を問う質疑に対する市職員の答弁は町田市では公用車の車種はリースした場合の方がコストを低くおさえられる軽自動車と普通乗用車をリースしているとのものでした。(中略)

常任委員会における市議会議員の大きな役割を学ぶとともに、委員会を傍聴するということの意義を感じる研修となりました。

玉川大学2年生 中里 叶夢(第44期生)

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)